

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和8年8月28日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は前月に比べて増加し、全海域において、健康度の指標となる3%を上回った。
- ・出現割合は低いものの、真珠層の褐変個体が確認された。
- ・貝柱の赤変個体は確認されず、赤変度合いを示すa値の平均値も低かった。
- ・今後、年間で最も高水温になる時期を迎えます。引き続き、貝の管理に御注意願います。

2 調査結果一覧

() 内は昨年同月の値

漁場 ^{*1}	貝の種類 (R7産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝 ^{*2}	3.4 (4.9)	-0.4 (-0.9)	0	5%
中部①	日中交雑貝	3.2 (5.5)	-0.2 (-0.6)	0	5%
中部②	日中交雑貝	4.3 (5.3)	-0.3 (-0.8)	0	0%
南部	日中交雑貝	5.9 (4.7)	-0.3 (-0.6)	0	0%
平均値		4.2 (5.1)	-0.3 (-0.7)		

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

3 調査方法

- ・5月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日2日前をめどに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)。

4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量(%)：アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a値：閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。

「アコヤガイ飼育管理の手引」公開中

<https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/111520.pdf>